

復興・防災マップコンクール表彰式

前谷地小が市長賞 地域を歩いて作り上げる



賞状を受け取る児童



市長賞の防災地図(後)と受賞した前谷地小学校6年生

市教育委員会が募集した「第2回復興・防災マップコンクール」の表彰式が1月22日、防災センターで行われました。最高賞の市長賞に選ばれた前谷地小学校6年生(25人)をはじめ、教育長賞の寄磯小学校3・4年生(3人)、東北大学災害科学国際研究所特別賞の北村小学校3～6年生(53人)、市地域連携会議会長賞の鹿妻小学校4年生(7人)に賞状が手渡されました。佐藤茂宗副市長は「それぞれの地域を実際に歩いて作り上げた地図で、皆さんは防災の担い手です」とあいさつしました。入賞作品は3月6～12日にイオンモール石巻に展示されます。コンクールは東日本大震災前後の町並みの変化を踏まえ、地域の良さを再認識し防災意識を喚起する目的で、昨年に続き実施しました。

図 学校安全推進課(内線5082)

石巻市のNPOについて

第3回

このコーナーでの「NPO」とは、NPO法人のみならず、公益活動を行う社団法人、財団法人、ボランティアなどの任意団体も含まれます。

個人のライフスタイルや市民のニーズが多様化したことで、福祉や子育てなどさまざまな分野でNPOが行政の手の届かない部分を補完するようになりました。また、専門性の高いNPOが関わることで、よりきめ細やかなサービスの提供も期待できます。一方で、市内のNPOは団体の規模もそれほど大きくなく、活動資金や人材の不足に悩んでいる団体もあります。NPOの活動を活性化するには、団体自らの努力はもちろん、多くの市民や企業の協力、参加が必要です。



なるほど。
何でも行政がやってくれる…という時代ではなくなってきたんだね。

ロック(石)
市民活動に興味あり

これからは、自分たちの地域の問題は自分たちで解決する！
という気持ちが必要になるよね。簡単ではないけれど、NPOが自治会や住民と協力しあえば、実現するかもしれないよ！

ロール(巻)
石巻市NPO支援
オフィス相談員



NPO活動への 共感

- ・まずは自分の住んでいる地域に関心を持ちましょう。
- ・市内には、さまざまな課題に対し活動しているNPOが沢山ありますが、地域の困りごとや課題に取り組んでいるNPOを見つけたら、応援してあげてください。

NPO活動への 参加

- ・ボランティアとしてお手伝い、イベントへの参加、団体への寄付など、NPO活動への参加のカタチはさまざまです。自分でできる範囲でOK！共感できる活動があれば、積極的に参加してみましょう！

市民とNPO

NPO側が努力すべきこと

- ・多くの人が参加できるよう、開かれた組織を目指しましょう。
- ・多くの人の共感を得られるよう、活動内容や収支報告など、団体運営に係る情報についても積極的に公開しましょう。

CSR活動のパートナーとして

地域に活気が出てくれば、地元企業も商売繁盛だね！



大企業ではあたりまえになってきたCSR活動ですが、地元企業が単独で取り組むのは大変・・・でも地域の問題を把握し、ニーズを知るNPOをパートナーにすれば、可能性は広がります。

※CSR:企業の社会的責任のことで、ここでは自主的に行う社会貢献活動のこと

「プロボノ」で協力

職業上のスキルや経験を活かして社会貢献を行う活動がプロボノ。企業の社員の方が、NPOの会計やWebサイト作成を手伝ったり…といった参加の仕方です。手伝う側もいつもの仕事とは違う経験ができ、新しい仲間ができたりします。

企業とNPO

最も重要なのは、市民一人一人が豊かで幸せに暮らせるよう、みんなが協力しあうことだね！



図 地域協働課(内線4237)